

平成22年度第2回公立大学法人熊本県立大学理事会
議事録

日時：平成22年10月27日（水）午後3時50分～午後4時40分

場所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出席：理事長 蓑茂寿太郎
副理事長（学長） 古賀 実
理事（副学長） 半藤英明
理事（事務局長） 益田和弘
理事 横田 剛※

※は、公立大学法人熊本県立大学理事会運営規程第3条第1項に基づく書面での意思表示による出席者。

事務局：三角事務局次長、馬場総務課長、林田教務入試課長、高橋学生支援課長、阪本企画調整室長、枝國地域連携センター事務長、田中学術情報メディアセンター事務長、川上総務課総務班長、林企画調整室主幹

1 開会（進行：三角事務局次長）

2 理事長あいさつ

3 議題（議長：蓑茂理事長）

（1）審議事項

① 教員採用に係る枠取りについて

古賀学長から、資料1-1から1-5に基づき、「環境共生学部から3件と総合管理学部から2件の枠取り。環境共生学部は、定年者補充のための海洋資源学を専門とする准教授又は講師、並びに転出者補充のための環境生理学を専門とする教授又は准教授及び給食経営管理学を専門とする助手の枠取り。総合管理学部は、転出者補充のための民法学を専門とする准教授又は講師、並びに定年者補充のためのファイナンス学を専門とする准教授又は講師の枠取り。採用は5件とも平成23年4月1日を予定」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 熊本県立大学小峯グラウンド用地の一部譲渡について

事務局から、資料2に基づき、「熊本県が施工する県道小池竜田線の改良工事に必要となる東稜高校グラウンド用地の代替地として、本学小峯グラウンドの一部をグラウンド機能に支障が生じない範囲で譲渡するもの。譲渡面積は約816㎡。今後契約を締結し、来年3月末日までに売買代金の受領が完了するように進めていきたい」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

（2）報告事項

① 平成21年度公立大学法人熊本県立大学業務実績評価について

事務局から、資料3に基づき、「熊本県公立大学法人評価委員会から平成21年度の業務実績評価について通知があった。平成21年度は、全体としては年度計画を着実に進めていると認められ、法人化後の4年間で到達すべき事項についてもお

おむね達成されており、順調な進捗状況と認められると評価された。ただし、全教員への任期制の導入や管理栄養士国家試験の合格率90%以上とするための支援の強化等について、中期計画の達成に向けて更なる取組の強化が必要との指摘をいただいている」との報告があった。

② 平成21年度財務諸表及び剰余金使途の設立団体の承認について

事務局から、資料4に基づき、「平成21年度財務諸表及び平成21年度に生じた剰余金の使途（教育研究等環境整備目的積立金への積立）について、設立団体である熊本県から承認を得た」との報告があった。

③ 平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」申請結果について

事務局から、資料5に基づき、「文部科学省所管の本事業に「自律と自立を目指す学生GP制度の創設」の取組を申請していたが、去る9月28日付けで選定の通知があった。全体では申請441件のうち180件が選定されている。事業期間は5年、予算は毎年上限が2千万円。今後、補助金の交付申請等必要な手続きを経て、12月頃から事業に取り組む予定」との報告があった。

(3) その他

① 平成23年度年度計画に係る意見交換

平成22年度年度計画を参考資料として平成23年度年度計画に係る意見交換を行った。理事からは、中期計画の取組の状況や10月26日に実施された(財)大学基準協会による認証評価の現地視察等を踏まえ、「国際化に向けて本学ならではの特徴的な取組を行うとともに取組の成果がより見えるようにする工夫が必要」、「CAP制の導入について検討を進めることが必要」等の意見が出された。

4 閉会

以上